

## 製品・サービス動向-国内

## ■エルモ社：働き方改革を背景に、会議の生産性を向上する各種製品を展開

(12月14日「ELMO テクニカルソリューションフェア 2017 in 東京」取材)

株式会社エルモ社 (<https://www.elmo.co.jp/>) (名古屋市瑞穂区) は、12月13日と14日東京都内にて「ELMO テクニカルソリューションフェア 2017 in 東京」を開催。

今回は、クラウドをテーマに、次世代クラスルーム、IoT、クラウドカメラ、セキュリティカメラなどパートナー企業とともに多彩なソリューションが展示された。その中で、会議の生産性を向上させるソリューションで最近同社より発売された関連製品をいくつかピックアップしレポートする。

企業では国が後押しする「働き方改革の実現」ともない、在宅勤務、在宅ワーク、モバイルワーク、サテライトオフィス勤務など働き方の多様化が進んでおり、いつでも、どこでも、誰とでもつながる、遠隔会議システムを含む情報通信機器の導入が加速化している。

エルモ社では、テレビ会議やWeb会議と親和性の高い書画カメラを多数展開しており、主に学校など教育機関向けに販売しているが、企業での活用も広がっている。

そういった中、2016年、4K画素に対応した世界最薄・最軽量の書画カメラ「VISUAL PRESENTER MX-1」を発売。1300万画素 CMOS センサを採用し、8倍の電子ズームを搭載。4K解像度では30フレーム秒、フルHD解像度では60フレーム秒が可能だ。重さは430gで携帯性に優れている。Webカメラとしても使

え、昨今のWeb会議/テレビ会議の高画質化にも十分応えられる製品だ。在宅ワークやサテライトオフィスからのWeb会議に活用できそうだ。



VISUAL PRESENTER MX-1 (エルモ社)



マルチコミュニケーションボード (エルモ社)



利用イメージ (エルモ社)

エルモ社は、11月15日、VISUAL PRESENTER MX-1の利便性を向上させる、専用のコミュニケーションツール「マルチコミュニケーションボード」を発売し

た。

マルチコミュニケーションボードを使うことで、手書き（水性ペン）した情報を、MX-1 を通してディスプレイに表示させることができる。マルチコミュニケーションボードは軽量なため MX-1 と一緒に持ち運ぶことも簡単だ。

エルモ社は、円滑なコミュニケーションを図るためには、情報通信機器の性能を利用した情報配信だけでなく、その場のディスカッションで伝えたいことを具体的に“手書き”することが重要と指摘する。相手との情報共有に、手書きを加えることで、ディスカッション時の自分の考えや相手の考えがさらに可視化され、より効率的な情報共有が行えると考えている。



#### Huddle Space G1/G2/G3（エルモ社）

次に、昨年 12 月に発売された、会議の議事進行に便利なハドルミーティングやアクティブラーニング向け BYOD 対応コラボレーションハブ「Huddle Space G1/G2/G3」。

Huddle Space は、PC、iPad、書画カメラ、ディスプレイ、プロジェクタ、テレビ会議システムなど最大 8 台のデジタル機器を HDMI で接続し、ボタンひとつ、あるいは、リモコンで切り替えることで、スピーディーで円滑な話し合いを支援する、画面スイッチャー（画面切替機）のこと。

会議室で発表者が交代するごとにパソコンとディスプレイの接続の差し替えに手間がかかり、会議を中断させるケースをしばしば見かけることがある。Huddle Space はそういった手間を省き、中断することによる生産性の低下を軽減する製品と言える。

使い方としては、あらかじめ会議で使用するデジタル機器を接続しておけば、使用する機器の該当ボタンを押すもしくはリモコンを操作することにより、説明者の映像、PC の画面、書画カメラによる資料提示など、簡単にしかも即、切り替えができる利点がある。

エルモ社によると、こういった切り替えが簡単に行えるというのはあまり目立たないメリットかもしれないが、積極的な発言を促す事につながり、ひいては会議の内容のみならず、円滑なコミュニケーションが行い易い関係性の構築にもつながるところでもあると説明をする。

さらに、Huddle Space は入力映像の切り替えだけでなく、無指向性のマイクを内蔵しているとともに外部マイクの入力も可能となっており、SD カード録画機能と組み合わせれば、会議中に画面に共有された資料とそれにあわせて行われた会話を録画することができるようになっている。議事録として活用できる。

Huddle Space のモデルは G1/G2/G3 の 3 種類を提供している。最大の接続デバイス数は 8 台となっておりどのモデルでも共通しているが、外部マイク入力、リモコン、HDBaseT（100m延長可能）などの点で、対応/非対応の違いがある。本体価格は 57,000 円から 97,000 円（税別）。連続動作 4 時間の専用バッテリーもオプションとして提供している。



#### Huddle Space 利用シーン例（エルモ社）

最後に、エルモ社が提供しているタッチパネル対応電子黒板化ソフト「ELMO Interactive Toolbox(EIT)」。

同社は、12月13日、コラボレーションツールであるインテル社の「インテル Unite」に対して連携アプリケーションプラグインをリリースした。

ELMO Interactive Toolbox は、パソコンにインストールすると、大型モニターやタブレットパソコンをタッチパネルで操作できるソフトウェア。具体的には、パソコンの静止画や動画への書き込み、書画カメラの画面への書き込みなどが行え、取り込んだ画像の拡大、そして保存や再生も行えるようになっている。これらの他、ふせん、トリミング、スタンプ、間欠録画、コンペアピクチャ（2画面比較）、マスクなどの便利な補助機能もある。

たとえば、同社が提供している 4K 書画カメラ MX-1 と ELMO Interactive Toolbox アプリケーションソフトウェアを組み合わせることで、キャプチャーしたカメラ画像をインタラクティブなホワイトボードに変え、書き込みや描画を行い、キャプチャーを保存することができる。

一方、インテル®Unite™とは、無線 LAN を使って、参加者のパソコンなどのコンテンツを、ネットワークに接続された会議室のディスプレイなどで簡単に共有することができるインテル社のコラボレーションソリューション。画面の共有やファイルデータの共有、共有画面の書き込みなどが行えるようになっている。ネットワークにつながっていれば会議室だけでなく、遠隔地からも参加できる。加えてビデオ会議ソフトウェアを使い映像コミュニケーションも可能になっている。

エルモ社は ELMO Interactive Toolbox とインテル®Unite™を連携させるプラグインを提供することで、インテル®Unite™を使用して、実物や資料などを投影することができたり、また会議室内の離れた場所から 4K 書画カメラ MX-1 を ELMO Interactive Toolbox か

ら操作したり管理したりすることが可能になるとしている。

画面を共有するという点では、Huddle Space もインテル®Unite™も同様な機能を提供しているとはいえるが、無線 LAN 環境がある/なしなどの使用環境や、パソコンにソフトウェアをインストールできる/できないといったセキュリティポリシーによりいずれかを選択する形をエルモ社では提案する。

「人と人 人と情報が つながる、つなげるエルモ」を企業ブランドメッセージとして掲げるエルモ社。今後も、会議の生産性の向上の面でも、さまざまなニーズに応えた製品やソリューションを展開していく考えだ。

## ■大和ライフネクスト：マンション業界初の Web 上での理事会開催システム「Web 理事会サービス」の提供開始

(2017年12月19日)

大和ハウスグループの大和ライフネクスト株式会社 (<http://www.daiwalifenext.co.jp/>) (東京都港区) は、「Web 理事会サービス」の提供を開始する。

Web 理事会サービスは、パソコン・スマートフォン・タブレット等を利用した Web 上での理事会を開催、質疑応答、決議を可能としたシステム。

これまでの分譲マンションの管理組合における理事会は、理事が集会室等で定期的な会議を開催し、議案審議する手法が一般的だった。大和ライフネクストは従来の対面式による理事会参加の負担軽減、災害等発生時の緊急理事会の即時開催などの課題を解決すべく、従来の常識を覆す手法として本システムを開発した。

本システムでは、理事会の代表者である理事長が議案内容の確認、開催承認を Web 上で行うことができ、開催承認後、各理事に開催通知が送信される。

それを受けて、各理事は開催期間の都合のよい時間にスマートフォンなどから Web 上で理事会に参加す

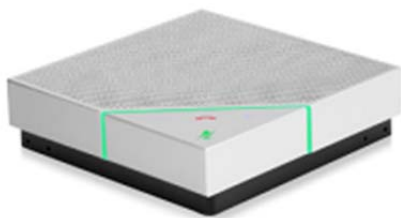
る。システムにアップされた会議資料を確認したり、電子掲示板で質疑応答したり、議案への賛成・反対・保留の意思表示などを行えるようになっている。なお、採決の結果は自動集計され、質疑応答のデータとともに議事録への反映機能があるため、効率的かつスピーディーな理事会運営が可能になっている。

大和ライフネクストは、ITなどの活用により既に発表済みの、インターフォンを利用した無人コンシェルジュサービス「ヒューマンシェルジュ・ダイレクト」をはじめ、マンション管理組合運営の効率化を図る機能を盛り込んだ管理仕様の開発を進めており、本システムはその中核を担うサービスとなる。今後もユーザーに満足される新技術・新サービスの開発を進めるとしている。

## ■ポリコムジャパン：コンパクトなスピーカーフォン「Polycom VoxBox」の日本市場での販売開始を発表

(2017年12月22日)

ポリコムジャパン株式会社 (<http://www.polycom.co.jp/>) (東京都新宿区)は、12月22日、携帯性に優れ、小規模な会議室や個室での使用に適したスピーカーフォン「Polycom VoxBox」の日本市場での販売を発表した。



Polycom VoxBox (ポリコムジャパン)

Polycom VoxBox は、コンパクトで軽量ながらも4つの指向性マイクを低歪スピーカーと結合し、最高品質のスピーカーフォンエクスペリエンス (Polycom HD

Voice に対応) を提供できるように細部に至るまで綿密に設計されている。加えて、Polycom NoiseBlock 技術は、ユーザの発言が終わると自動的にマイクをミュートし、ノイズによって会話が中断されることを防ぐ。参加者はミュートボタンを意識することなく、会議に集中することができる利点がある。

集音範囲については、全方位に3mまで集音することができる。これは一般的な個人用スピーカーフォンの2倍以上の集音範囲で、参加者が会議テーブルの端に座ったり、会議室内を移動してホワイトボードを使用しながら発言した場合にも、全員がその参加者の声をクリアに聞き取ることができるようになっている。

その他、会議の会話だけではなく、音楽を楽しむ時も豊かで迫力のある音響で聞くことができる。

Polycom VoxBox は、ポリコムの認定販売代理店を通じて、12月22日より正式に提供開始する。価格は全てオープンとなっている。



Polycom VoxBox 利用イメージ (ポリコムジャパン)

## ■コミュニクラウドジャパン：ドルビーの音声技術を採用した世界初の多地点音声会議サービスの提供開始

(2017年11月1日)

コミュニクラウドジャパン株式会社 (<https://communicloud.co.jp/>) (神奈川県横浜市)は、企業・法人を対象にした多地点音声会議サービス

「MeetMe with Dolby Voice（ミート・ミー・ヴィズ・ドルビー・ボイス）」の提供を開始した。

MeetMe with Dolby Voice は、米ドルビーラボラトリーの「Dolby Voice テクノロジー」を世界で初めて採用したサービス。

高音質で雑音をなくし、複数の話し手の声が別々に聞こえるため、誰が何を話しているかがはっきりわかるのが MeetMe with Dolby Voice の特長。

アナログ電話回線を利用する従来の電話会議サービスでは、音声がかもって先方の声が聞き取りにくいといった難点もあった。こういった電話会議の「疲れる」原因をなくするのが今回発表されたサービスのポイント。

ちなみに長年にわたり遠隔会議サービス業界をけん引している英 BT グループの電話会議サービスにも応用されているという。

MeetMe with Dolby Voice の特徴は高音質さだけにとどまらず、電話回線だけでなく、PC やスマート端末から通信料金が安価なインターネット回線を通じて会議ができるため、従来の電話会議サービスに比べて運用コストを約 40%も削減できるという。さらには「Cisco WebEx」との連携で PC の画面共有機能を併用することも可能になっている。もちろん、画面共有機能を使っている際にも自然で聞き取りやすい音声とともに利用できるとしている。

サービスは 1 分当たりの従量課金制。利用権限者に専用のパスコードを付与する ID モデル。初期費用・基本料金は不要となっている。1 ID から利用できる。1 会議あたり最大 100 人まで接続が可能で、会議への参加者は登録せずに参加できるようになっている。

コミュニ クラウド ジャパンは、こうした疲れる原因をなくす技術を採用した多地点音声会議サービスの提供で、企業や法人にとって最優先の課題である業務効率の向上や意思決定の迅速化、ひいてはユーザのテレワークやリモートワークにも貢献するとしている。

## ビジネス動向-国内

### ■バイキューブ：弁護士ドットコムとの業務提携、IT 重説解禁に伴い、契約手続きの利便性向上および業務効率化を推進

(12 月 25 日)

株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、Web 完結型クラウド契約サービス「クラウドサイン」を提供する弁護士ドットコム株式会社 (<https://corporate.bengo4.com/>) (東京都港区) と業務提携を行った。クラウド技術を活用した不動産業界の業務効率化の推進を目的としたもの。



(バイキューブ、弁護士ドットコム)

従来、賃貸不動産取引における重要事項説明は対面での説明が義務付けられていたが、2017 年 10 月から IT 重説が解禁になり、契約者は店舗に来店する必要なくオンライン上で重要事項説明を受けることが可能になった。

今回の 2 社による提携により、不動産仲介業者等の担当者が、「V-CUBE ミーティング」と「クラウドサイン」を併用し、入居者と V-CUBE ミーティングで面談、クラウドサインで申込み、書類を送信・回収する業務フローを構築することで、オンラインで説明から契約締結まで実行することが可能になった。加えて、不動産仲介業者なども賃貸借契約に関わる印刷、郵送などの業務負荷を削減でき、業務の生産性を向上させることが可能という。

## 導入利用動向-国内

### ■NTT ドコモ：島根県健康福祉部がクラウド型 Web 会議サービス「sMeeting」を導入

(2017年12月25日)

株式会社 NTT ドコモ (<https://www.nttdocomo.co.jp/>) (東京都千代田区) は、クラウド型 Web 会議サービス「sMeeting」を島根県健康福祉部が導入したと発表。会議の効率化を狙う。

sMeeting は、拠点間会議を効率的に実現し、ワークスタイル変革を推進する機能を豊富に備えている。インターネット接続環境があれば、パソコンやスマートデバイスからいつでもどこでもセキュアに、映像・音声・資料を共有したコミュニケーションが可能。

今回導入した島根県健康福祉部は、同県内における保険・医療・福祉の仕組みづくりや生活支援を行っており、県庁の各課と県下7つの保健所との会議効率化をめざし、sMeeting を導入した。これまで対面式の会議を行うためにかかっていた交通費や稼働費、職員の負担を軽減し、業務の効率化と生産性の向上を実現している。

導入事例の詳細：

<https://www.docomo.biz/html/casestudy/detail/shimane.html>

### ■NEC ネットズエスアイ：Zoom が YAHOO! JAPAN・京都工芸繊維大学 NEC が実施する社会実験「“はたらく“のつながり”」に採用

(2017年12月26日)

NEC ネットズエスアイ株式会社 (<http://www.nesic.co.jp/>) (東京都文京区) が提供する「共創ワークソリューション Zoom」が、ヤフー株式会社 (東京都千代田区) 社内で1月15日から実施

される社会実験「“はたらく“のつながり”」 (<http://www.neo-rc.com/?p=170>) に採用された。

“はたらく“のつながり”は、ヤフー本社内にあるオープンコラボレーションスペース LODGE (ロッジ) で1月15日から2月6日まで実施される新しい働き方と新しい仕事の創り方を探求する社会実験で、実験期間中に開催されるすべてのワークショップで、LODGE、九州、京都の会場間をつなぐコミュニケーションツールとして ZOOM が活用される予定となっている。

この社会実験は、YAHOO! JAPAN と京都工芸繊維大学新世代クリエイティブシティ研究センター (<http://www.neo-rc.com/>) (京都府京都市、NEO) が実施する。目的としては、人や組織がつながり、仕事があまれ、イノベーションが起きる、このプロセスを実現するための様々なワークスペースやワークスタイル、ワークツールを LODGE に実装することで、働く人や組織、仕事をつなぐことでイノベーションを作り出すことを狙いとした公開参加型の社会実験。その際には、(1) 作法をつくるチーム、(2) しつらえを試すチーム、(3) センシングを活かすチームに分かれて行うとしている。

NEO は、一企業のワークプレイスではなく、都市全体をワークプレイスと捉え、個々のワークプレイスが相乗効果を生む都市をクリエイティブシティと定義し、その課題解決に向かって産官学連携で共通研究に取り組む場として設立されたもの。ソリューションプロバイダーとして働き方改革を推進する NEC ネットズエスアイも参画している。

## PR

(広告掲載順)

## ■ヤマハ株式会社

USB スピーカーフォン FLX UC 500

[https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx\\_uc\\_500/index](https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/flx_uc_500/index)

## ■株式会社ブライトコンパス

まだまだ使える綺麗な中古のテレビ会議システムが  
格安で手に入ります。

中古テレビ会議.com

<http://chuko-tv-kaigi.com?=cna01152>

## セミナー・展示会情報

## &lt;国内&gt;

## ■ブイキューブセミナー情報 (1月~3月)

「失敗しない「Web会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー」、「従来比 1/3 のコストで導入できる” V-CUBE Box 体験セミナー」、「動画活用が金融機関を変える！行員の意思を統一し、即戦力化させる「動画トレーニング」の効果とは」、「働き方改革セミナー 失敗しない「Web会議」「テレビ会議」選び方徹底解説」など

会場 (東京・大阪・Web)

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

## ■ワークスタイル変革 実践事例セミナー

～コミュニケーション・コラボレーション変革からはじめる  
ワークスタイル変革～

日時:1月24日(水) 10:00~17:00

会場：リコージャパン ViCreA 東京 ショールーム  
(東京都中央区)

主催：リコージャパン株式会社

詳細・申込：

<http://www.ricoh.co.jp/event/seminar/17S105.html>

## ■医療機関向けセミナー

～ライブ映像で遠隔医療を変える～

日時：1月25日(木) 13:30~16:40 (受付:13:00~)

会場：大手町フィナンシャルシティ・グランキューブ 3F (東京都千代田区)

主催：VidyoJapan 株式会社

詳細・申込：<https://japan.vidyo.com/event180125/>

※神奈川県立こども医療センターの川瀧 元良 氏の講演もあります。

国内その他：<http://cna.jp/cna/event-j.html>海外その他：<http://cna.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNA.jp サイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回(プレスリリースと取材に基づく記事)ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。よろしければご参照ください。

## ■フェイスブック (遠隔会議&amp;UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

## ■Twitter (CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

## ■メーリングリスト (dtc-forum)

<http://cna.jp/cna/dtcforum-ml.html>

## アーカイブ電子ブック版

&gt;2003年-2013年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

&gt;2014年-2017年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/)

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

## 編集後記

2018年の定期レポートがスタートしました。  
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。  
今年も皆様のお役に立てるように尽力しますので、何  
卒宜しくご支援いただきますようお願い申し上げます。

橋本啓介

**CNAレポート・ジャパン 2018年1月15日号おわり**

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: [cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)